

取扱説明書

エアレスハンドガン

MG7



MG7 仕様	
構 造	ニードル方式
塗料圧力	0~25MPa
質 量	375g



この説明書には、重要な警告や注意事項が記載されております。
本機を使用する前に、必ず内容をよく読んでください。
この説明書は、製品を廃棄するまでは、必ずお手元に保管し、
紛失、汚損した場合は、販売店または当社までご請求ください。
ガンは必ず、取付部に接地してください。
ポンプも必ず、本体を接地してください。

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本機を使用される前に、この取扱説明書を必ず、よくお読みください。

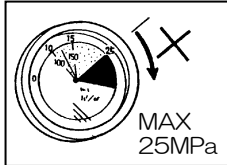
とくに、警告・注意事項の指示を良くご理解いただき、安全な操作を理解して正しい使い方をしていただきますようにお願いします。

この取扱説明書に従わずに使用すると、人体の傷害や器物の損壊を招くおそれがあります。

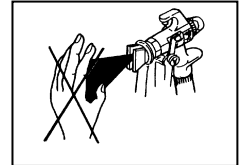
警告

スレイガンから噴射される高圧力の塗料は、人体や皮膚に当たると大きなケガの原因になります。

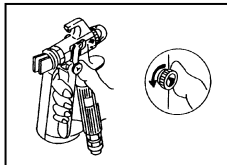
◎このガンは、25MPa以下の塗料圧力でご使用してください。また、異常があった時は、すぐに圧力を0MPaに下げてください。



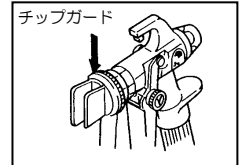
◎ガン先を自分の体や他人に向けることは絶対にしないでください。又、指や掌及び手に持った物体等で、ノズルを押えることはしないでください。



◎スレイをしないとき、ガンからノズルを外す場合は、必ずトリガにロックをしてください。



◎チップガードは、常にはめてご使用ください。出荷時にはチップガードはリテーニングナットに取り付けてあります。ノズルを付けて、専用スパナにてリテーニングナットをしっかりと締め付けてください。



高圧塗料のスレイに打たれたときは、素人治療でなく、直ちに専門医に手当を受けてください。使用していた塗料の種類を、医師に正確に告げる必要があります。

◎ガンの改造は絶対しないでください。

◎安全装置（チップガード、ハンドガード）を取外して使用することはしないでください。

◎圧力を抜かないで、ノズルやホースを外したり、分解してはいけません。

◎スレイするときには、換気のできる場所で使用し、有機溶剤等の有毒ガスを吸い込まないようにマスクを、又目への浸入を防止するために保護めがねを必ず着用してください。

◎静電気による危険を防ぐためにポンプ・被塗物・その他全ての塗装機（使用中のもの、またはその付近にあるもの）は接地してください。アースをしない場合、塗装機は、塗料の流れにより静電気を発生し、スパークを起こすと、電撃・火災等のおそれがあります。

◎シートハウジングのOリング（5）が磨耗及び損傷した場合、速やかに交換してください。塗料漏れの原因となり、けがをすおそれがあります。

《圧力解放手順》

①トリガにロックをする。

②塗装機のエア源（又は電源・エンジン）を切り、ポンプを停止させる。

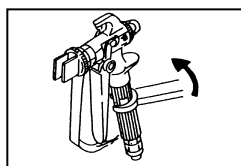
③トリガのロックを外し、トリガを引いて塗料圧力を下げます。

④ドレンバルブを開放して、システム全体の圧力を0にし、もう一度トリガを引く。

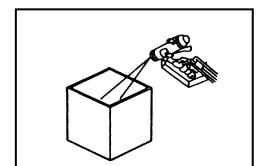
⑤再度、トリガにロックをする。

使用方法

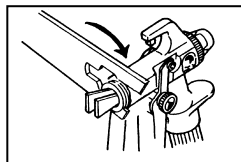
①ガングリップ(2)のゆるみをチェックします。手で緩めた後、スパナでしっかりと締めて下さい。



②スレイガンに塗料ホースを確実に接続し、塗装機の塗料圧力を2~3MPaに設定して下さい。

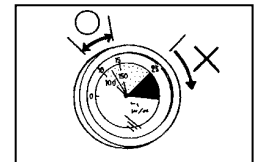


④使用条件に合ったノズルを選定し、ガン先に取り付けます。



③最初は、ノズルを付けずに空缶等に捨て吹きして下さい。

⑤霧化状態を見ながら試し吹きを行います。塗装機を必要最低の圧力に調整して下さい。



注意

●塗料を調合される場合は、塗料及び溶剤の注意書をよく読んでください。

●塗料は40℃以下の温度で供給してください。

●ノズル回りは、常に清浄な状態を保つようにしてください。作業終了後は、ノズルを外して洗浄してください。この時、必ずトリガにロックをしてください。

●ガン全体は、絶対シンナの中に浸けないでください。潤滑剤がとれて、パッキンが傷みます。

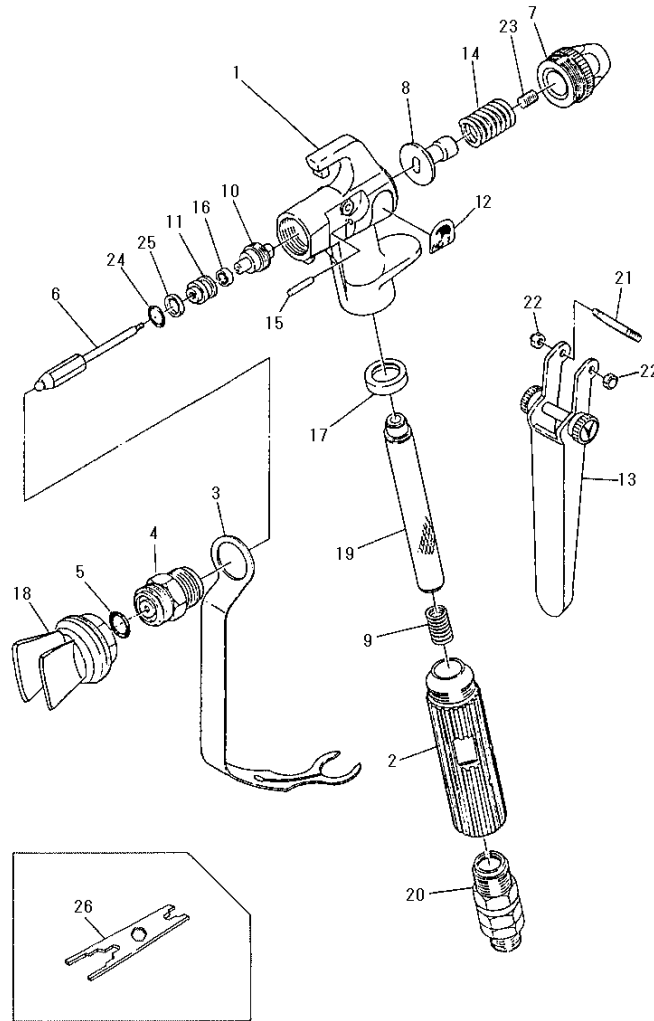
●塗料ホースは、金属ブレード被覆、又はアース入のホースをご使用ください。

●使用前には、ネジ部の緩みのない事を確認してから使用してください。

構成部品

MG7

1294



エアレスハンドガン MG7

番号	部品番号	品名	個数	備考
1	1294-001	ボディ	1	
2	1294-002	グリップ	1	
3	1294-003	ハンドガード	1	
※◆4	1294-005	シートハウジング	1set	
※5	101-2009	Oリング	1	
※◆6	1294-006	ニードル	1	
7	1294-007	エンドキャップ	1	
8	1294-008	ブッシャ	1	
9	1294-009	スプリング	1	
10	1294-010	バックピン押エ	1	
11	1294-011	バックンケース	1	
12	1294-012	型式銘板	1	
13	1294-013	トリガセット	1set	

番号	部品番号	品名	個数	備考
14	1294-014	スプリング	1	
15	1294-015	ブッシャピン	2	
※16	1294-016	Uバックン	1	
※17	1245-018	バックン	1	
18	1294-019	チップガードアッシ	1set	
※19	1294-020	スクリーンフィルタ	1	
※20	2933	ユニバーサルジョイント	1set	
21	1294-022	トリガピン	1	
22	28-10300	六角袋ナット	2	
23	1294-025	止メネジ	1	
※24	101-6007	Oリング	1	
※25	153-2007	バックアップリング	1	

※印は、スペアパーツとして常備されることをお勧めします。

特にOリング（5, 24）は分解時必ず交換が必要ですので、常備願います。

フィルタ（19）の標準メッシュは#60となっています（100, 200メッシュはオプション）。

ノズル詰まり防止の為、フィルタは作業開始前、終了後は必ず清掃願います。

又、ご使用のノズルが頻繁に詰まるようでしたら、フィルタをメッシュの細かいものに交換してください。

◆シートハウジング（4）とニードル（6）はどちらも消耗品となりますので、同時に交換することを推奨します。

■ 付属工具

No.	部品番号	品名	個数	備考
26	3511-201	専用レンチ（付属工具）	1	

ご注意：この機械は、予告なしに仕様を変更することがありますのでご了承ください。

故障とその処置

※()内数字は分解図中の番号です。

故障の現象	原因	処置と対策
スプレーしない	<ul style="list-style-type: none"> 塗料が送られていない。 ノズルの詰まり。 	<ul style="list-style-type: none"> 塗装機をチェック。 ノズルクリーン等で除去。 (ノズルサイズとフィルタのメッシュが合っていない事も考えられます。フィルタをメッシュの細かいものに変更、もしくはノズルサイズを大きくしてください。使用する塗料は、ガンのフィルタと同じメッシュ、もしくはワングラス目の細かいメッシュで濾してからご使用願います。)
スプレーが弱い	<ul style="list-style-type: none"> フィルタ(19)の詰まり。 	<ul style="list-style-type: none"> フィルタの清掃又は交換。 (上記と同様な事が考えられます)
塗料漏れ	<ul style="list-style-type: none"> パッキン押工(10)の緩み。 	<ul style="list-style-type: none"> 増し締めを行う。
	<ul style="list-style-type: none"> Uパッキン(16)の摩耗。 	<ul style="list-style-type: none"> 消耗品の交換。
	<ul style="list-style-type: none"> Oリング(5)・(24)、バックアップリング(25)の破損。 	<ul style="list-style-type: none"> 消耗品の交換。
	<ul style="list-style-type: none"> ニードル(6)の摩耗。(ニードルに深い摺動痕、立て傷、打痕傷等があれば交換してください。) 	<ul style="list-style-type: none"> ニードルを交換。 (この場合、パッキンも交換が必要となります。)
	<ul style="list-style-type: none"> パッキン(17)の摩耗。 シート部分にゴミが引っかかりシート不良を起こし、ガン先端より塗料が漏れている。 (シート又はニードルの摩耗) 	<ul style="list-style-type: none"> パッキンを交換。ニードル及びシートハウジングの交換。 (ニードル先端のボールにリング状の接触痕がある程度であれば交換の必要はありませんが、リングが変形していたり、もしくは摩耗しているようでしたら、ニードルとシートハウジングをセットで交換が必要です)
<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルジョイント(20)からの漏れ。 	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルジョイントを交換。 	
スプレー不調 (切れが悪い) (止まらない)	<ul style="list-style-type: none"> ニードル(6)の固着。 	<ul style="list-style-type: none"> 分解洗浄及びパッキン交換。
	<ul style="list-style-type: none"> プッシュピン(15)の固着。 	<ul style="list-style-type: none"> 分解洗浄及びパッキン交換。
	<ul style="list-style-type: none"> ニードル(6)とシートハウジング(4)との間の異物の かみこみ。 	<ul style="list-style-type: none"> 分解洗浄。
	<ul style="list-style-type: none"> ニードル(6)とシートハウジング(4)との当り面の 摩耗、又は傷の発生。 	<ul style="list-style-type: none"> ニードル及びシートの交換。

部品交換等メンテナンスをした後、ポンプにつなぎシナ等でゆっくり加圧をし、漏れが無い確認してください。もし漏れがあるようでしたら再度分解を行い、Oリングなどに傷をつけてしまっていないか、きちんと装着されているか確認後、再度組付けてください。また、この取扱説明書に指示する方法以外での修理を行わないでください。

- 本機械を譲渡するときは、必ず機械に本書を添付して次の所有者に渡してください。
- 本機械は、日本国内の法規に基づき製作されています。
本機械を日本国以外で使用するときは、その国の安全規格を遵守する必要があります。

令和 2年12月 9日 第9版



塗装FAシステム・機器の総合メーカー

旭サナック株式会社

本社・工場	愛知県尾張旭市旭前町5050番地	〒488-8688	TEL(0561)53-1213	FAX(0561)54-8847
塗装技術センター	愛知県尾張旭市旭前町5050番地	〒488-8688	TEL(0561)53-1226	FAX(0561)53-2722
東京技術センター	埼玉県桶川市加納224	〒363-0001	TEL(048)773-2121	FAX(048)773-7443
東京支店	東京都千代田区神田西福田町4番地1	〒101-0037	TEL(03)3254-0911	FAX(03)3258-1968
札幌出張所	札幌市東区北十二条東14丁目3-8	〒065-0012	TEL(011)712-0927	FAX(011)751-8697
東北営業所	宮城県仙台市若林区蒲町19-3	〒984-0037	TEL(022)286-7177	FAX(022)286-7175
関東営業所	埼玉県桶川市加納224	〒363-0001	TEL(048)773-2121	FAX(048)773-7443
横浜営業所	神奈川県大和市下和田741番8号	〒242-0015	TEL(046)268-7271	FAX(046)268-7280
東海営業所	静岡県磐田市西貝塚3668-12	〒438-0026	TEL(0538)33-3700	FAX(0538)33-3705
中部営業所	愛知県尾張旭市旭前町5050番地	〒488-8688	TEL(0561)53-1213	FAX(0561)54-8847
北陸駐在事務所	石川県金沢市新保本5-86-1	〒921-8062	TEL(076)240-7273	FAX(076)240-7271
大阪営業所	大阪府吹田市垂水町3丁目28番地4	〒564-0062	TEL(06)6386-8105	FAX(06)6386-6771
広島営業所	広島県広島市西区南観音3-16-17	〒733-0035	TEL(082)291-0188	FAX(082)291-0162
九州営業所	福岡県福岡市博多区井相田2-2-5	〒812-0881	TEL(092)582-5155	FAX(092)582-4528
鹿児島出張所	鹿児島県鹿児島市小松原1-10-21	〒891-0114	TEL(099)267-2460	FAX(099)267-6317

令和 2年12月 9日 第9版